



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年7月26日

上場会社名 株式会社 アサックス
 コード番号 8772 URL <https://www.asax.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 草間 庸文

問合せ先責任者 (役職名) 総務統括部長 (氏名) 松川 雅一

TEL 03-3445-0404

四半期報告書提出予定日 2019年8月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,398	9.5	915	17.9	916	17.9	594	17.9
2019年3月期第1四半期	1,545	3.7	1,115	8.9	1,116	9.2	723	9.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	18.01	
2019年3月期第1四半期	21.94	

(注) 当社は、2018年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	69,455	35,265	50.8
2019年3月期	71,475	35,165	49.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 35,265百万円 2019年3月期 35,165百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		15.00	15.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,852	6.2	1,938	10.2	1,938	10.2	1,259	9.8	38.20
通期	5,721	4.7	3,934	7.8	3,984	7.8	2,555	7.5	77.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	32,980,500 株	2019年3月期	32,980,500 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	4,500 株	2019年3月期	4,500 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	32,976,000 株	2019年3月期1Q	32,976,000 株

(注) 当社は、2018年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の底堅さと、雇用・所得環境の改善が続くなかで、引き続き緩やかな回復基調で推移しましたが、一方で、米中の貿易摩擦問題や海外における地政学的リスクが国内経済に与える影響が懸念され、先行きは不透明な状態にあります。

不動産金融市場においては、都心近郊における住宅地・商業地の地価は引き続き堅調であるものの、先行きについては、過熱感への懸念や建設コストの動向等の影響を留意する必要があります。

このような環境の下、当社においては、従来通り「債権の健全性」を重視した顧客開拓を行った結果、当第1四半期末における営業貸付金残高は、前事業年度末の67,837,042千円から1,551,431千円(2.3%)減少の66,285,610千円となりました。

当第1四半期累計期間における経営成績は以下の通りです。

営業貸付金利息は、期中平均貸付金残高が前年同四半期比0.6%の減少となったことその他、当事業年度より貸出金利の上限を引き下げたことによる平均貸出利率の低下等が主因となり、前年同四半期比131,156千円(10.8%)の減少となりました。

その他の営業収益は、保証事業に係る収益が増加となったことにより、その他が前年同四半期比16,264千円(39.2%)の増加となったものの、期中貸付額の減少に伴い、手数料収入が前年同四半期比24,064千円(12.7%)の減少となったこと等により、前年同四半期比15,187千円(4.6%)の減少となりました。

以上により、当第1四半期累計期間における営業収益は、前年同四半期比146,344千円(9.5%)の減少となりました。

金融費用は、期中平均有利子負債残高が前年同四半期比8.1%の減少となり、平均調達金利も低下したことにより、前年同四半期比21,193千円(21.7%)の減少となりました。

売上原価は、前年同四半期比5,430千円(100.0%)の減少、その他の営業費用は、株主関連費用の増加や、本社の改装に係る費用の計上等により、前年同四半期比79,879千円(24.5%)の増加となりました。

以上により、当第1四半期累計期間における営業費用は、前年同四半期比53,255千円(12.4%)の増加となりました。

営業外損益、特別損益ともに利益に大きな影響を与えるものはなく、法人税等合計は、前年同四半期比70,504千円(17.9%)の減少となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における業績は、営業収益は1,398,990千円(前年同四半期比9.5%減)、営業費用は483,004千円(同12.4%増)となり、営業利益は915,986千円(同17.9%減)、経常利益は916,594千円(同17.9%減)、四半期純利益は594,129千円(同17.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

流動資産

当第1四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末の70,741,913千円から2,013,797千円(2.8%)減少の68,728,116千円となりました。これは主として、現金及び預金が507,991千円(20.0%)の減少、営業貸付金が1,551,431千円(2.3%)の減少となったこと等によるものです。

固定資産

当第1四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末の733,948千円から6,143千円(0.8%)減少の727,804千円となりました。これは主として、本社の改装による有形固定資産の増加等があったものの、減価償却による減少及び繰延税金資産が減少となったこと等によるものです。

② 負債の部

流動負債

当第1四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末の13,292,111千円から439,621千円(3.3%)減少の12,852,490千円となりました。これは主として、未払金が69,634千円(105.6%)の増加、預り金が71,957千円(426.5%)の増加となったものの、1年以内返済予定の長期借入金が130,825千円(1.1%)の減少、未払法人税等が473,379千円(58.9%)の減少となったこと等によるものです。

固定負債

当第1四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末の23,018,079千円から1,679,809千円(7.3%)減少の21,338,270千円となりました。これは主として、長期借入金が1,682,821千円(7.7%)の減少となったこと等によるものです。

③ 純資産の部

配当金の支払い494,640千円があった一方、四半期純利益を594,129千円計上したことにより、利益剰余金が前事業年度末比99,489千円(0.3%)の増加となり、当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末の35,165,670千円から99,489千円(0.3%)増加の35,265,160千円となりました。なお、自己資本比率は50.8%(前事業年度末は49.2%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年4月25日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,538,408	2,030,416
営業貸付金	67,837,042	66,285,610
販売用不動産	8,138	20,642
前払費用	22,694	32,302
その他	409,631	432,343
貸倒引当金	△74,000	△73,200
流動資産合計	70,741,913	68,728,116
固定資産		
有形固定資産	98,193	113,695
無形固定資産	42,993	39,503
投資その他の資産		
破産更生債権等	36,787	36,229
その他	570,773	560,776
貸倒引当金	△14,800	△22,400
投資その他の資産合計	592,760	574,606
固定資産合計	733,948	727,804
資産合計	71,475,862	69,455,921
負債の部		
流動負債		
1年以内返済予定の長期借入金	12,322,794	12,191,969
未払金	65,913	135,548
未払費用	45,524	47,438
未払法人税等	804,133	330,753
預り金	16,876	88,833
前受収益	9,813	7,982
賞与引当金	27,033	48,494
その他	23	1,470
流動負債合計	13,292,111	12,852,490
固定負債		
長期借入金	21,927,502	20,244,681
退職給付引当金	85,400	88,200
役員退職慰労引当金	984,188	985,500
その他	20,989	19,889
固定負債合計	23,018,079	21,338,270
負債合計	36,310,191	34,190,760
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,307,848	2,307,848
利益剰余金	32,859,072	32,958,562
自己株式	△1,250	△1,250
株主資本合計	35,165,670	35,265,160
純資産合計	35,165,670	35,265,160
負債純資産合計	71,475,862	69,455,921

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業収益		
営業貸付金利息	1,212,705	1,081,549
その他の営業収益	332,629	317,441
営業収益合計	1,545,335	1,398,990
営業費用		
金融費用	97,873	76,679
売上原価	5,430	—
その他の営業費用	326,445	406,324
営業費用合計	429,748	483,004
営業利益	1,115,586	915,986
営業外収益		
受取利息	0	0
関係会社貸付金利息	145	150
受取手数料	579	456
雑収入	406	0
営業外収益合計	1,132	608
経常利益	1,116,718	916,594
税引前四半期純利益	1,116,718	916,594
法人税、住民税及び事業税	385,515	314,783
法人税等調整額	7,452	7,680
法人税等合計	392,968	322,464
四半期純利益	723,750	594,129

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。